

審議の詳細

回答数・・・24（委員25名）

	議題	承認する	承認しない
議案第1号	地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について	23	1

主なご意見（要旨）と回答

○高齢の交通弱者にとって「予約型乗合交通ふれあい号」は素晴らしい事業だと思う。若い世代と同居していれば情報を得られるが、独居の高齢者への周知が必要だと感じている。パンフレット等があれば、配布の協力をさせていただく。（承認する）

⇒ふれあい号へのご理解、また市民への周知にご協力いただきありがとうございます。

○自家用車を運転できると公共交通に馴染みがないが、いちど公共交通を体験できる機会があると、身近に感じられると思う。（承認する）

⇒常総市地域公共交通計画において「公共交通利用に向けた意識啓発」を取り組むべき施策のひとつとしております（P81）。交通事業者等と協議しながら実施を検討したいと思います。

○ふれあい号の配車業務は社協に委託しているが、タクシー会社に移行することは可能か。その他、免許返納者への支援や福祉タクシー助成券などの議論も必要だと思うので、新型コロナウイルスの状況を見て対面での会議ができればと思う。（承認する）

⇒ふれあい号の配車業務をタクシー事業者に移行することについて、平成30年4月の運行事業者会議にて相談したところ、「通常の業務と混乱しかねない」「各社で統一したシステムが必要になり、結局のところ費用がかかる。いまのやり方がベターだと思う」などといったご意見をいただいているため、配車業務は社協に委託しております。また、免許返納者への支援や福祉タクシー助成券含め、ふれあい号の課題については十分な議論が必要だと考えております。

○市による率先したノーマイカーデーの呼びかけを行い、市民への公共交通利用促進を図っていただきたい。（承認する）

⇒常総市地域公共交通計画において「公共交通利用に向けた意識啓発」を取り組むべき施策のひとつとしております（P81）。交通事業者等と協議しながら実施を検討したいと思います。

○新型コロナウイルスの流行が利用者減少（目標未達成）の主な要因であるとともに、タクシーの台数が令和2年10月に6台から5台と減少したことも要因のひとつであると考えられる。（承認する）

⇒タクシー事業者の廃業による車両減を加味した目標設定としましたが、それを下回る結果となりました。ふれあい号のみで市民の移動手段を確保するのではなく、6つの交通モードによる公共交通網を構築してまいります。

○「あって安心 使って便利 みんなで支える公共交通」の基本理念を大切に、1人でも多くの人に利用していただきたい。（承認する）

⇒地域全体で公共交通を維持・活性化する必要がありますので、引き続き、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○実績・効果の欄は「ふれあい号により自家用車を運転できない市民の移動手段は、未だ、十分には確保できていない」に修正すべき。今後の改善点には「ふれあい号利用者アンケート結果にあるように『運行時間』『運行曜日』の見直しを検討します」と追記すべき。また宣伝・広報はしているが、新規の登録者数が伸び悩んでいる。（承認しない）

⇒ふれあい号のみでのすべての移動ニーズに対応するのは困難なものと捉えており、タクシー事業者の減少が続く中、効率的な運行を検討する必要があります。常総市地域公共交通計画に定めたとおり、6つの交通モードによる公共交通網を構築してまいります。